

記入日：令和2年9月1日

所在地（都道府県/市町村）：千葉県／千葉市		
法人名：社会福祉法人オリーブの樹		
施設・事業所名：オリーブハウス		担当者名：加藤裕二
事業種類：就労継続支援A型、就労継続支援B型、就労移行、生活介護		
主たる障害：知的障害		令和2年3月末現在定員： A型 30名 B型 70名 移行 20名 生活介護 30名
TEL:043-216-8211	FAX:043-216-8212	E-mail:rijicho@olivehouse.info

① 令和元年度までの主な取り組み内容

- ・クッキー、パウンドケーキ製造販売事業（A型）
- ・アイスクリーム製造販売事業（A型）
- ・ビーズアクセサリ、藍染製品、機織り製品等製造販売事業（B型）
- ・千葉市民会館内喫茶店及びホール内売店の運営（A型）
- ・食堂の運営（B型）
- ・受注作業（B型 生活介護）

② 施設・事業所における新型コロナウイルスの影響

- ・イベントの中止により販売先が全て無くなった。（特に秋の販売集中期）
- ・会社への訪問販売も無くなった。
- ・千葉市民会館も来客者がほとんど無くなり、喫茶事業は休業状態になった。
- ・年間で約2000万円の売上減少が見込まれる。

③ コロナ下において新たに始められた取り組みの内容

事例タイトル：新規販路作り（オンラインショップ、お届け便、地域バザー）
取り組み内容： ・HP内にオンラインショップを設けネット販売を開始した。（8月より） ・「お届け便」として地域に2回ポスティング（チラシ数14万枚）を行い、注文された家に直接商品をお届けした。（4月より） ・法人内施設3か所で月に1回感染予防策を取りながら、バザーや朝市を開催した。（7月より） ・法人施設全体の商品パンフレット（3万部）を作り、関係機関等に配布する。（9月より実施予定）

④ ③の取り組みを始めたきっかけ・工夫した点

○きっかけ

- ・イベント販売（年間約 500 か所）が全て無くなるため、イベント以外の販売方法の創出を迫られた。

○工夫

- ・オンラインショップでは、ミスのためクレームが生じないよう実施方法、広報の仕方に詳細に亘り検討を行った。
- ・お届け便では、受注ミスが発生しないよう、受注段階の確認の徹底を図った。
- ・バザーの開催は、感染予防対策が徹底していることを地域に周知した。

⑤ 取り組みの効果（売上や顧客、利用者、職員、地域等における効果）

- ・オンラインショップはマスコミが取り上げてくれ、施設のおかれている状況を多くの方々に知ってもらうことが出来た。
- ・お届け便では 800 件の注文が入り、5 月～8 月の売上の減少を補填できた。
- ・施設販売ではコロナ感染予防に万全を期した。1 回の売上は約 11 万円でイベント販売の収入減少の補填が出来た。
- ・4 月～8 月期の売上は前年比 12%増の約 870 万円となり、前期は何とか乗り切ることが出来た。

* 後期は秋のイベント販売での売り上げ 1200 万円がなくなるため、後期は前年比 20% 程度になる見込み。

⑥ ③の取り組みを開始するにあたり新たに導入した生産設備・備品（経費・財源）等

- ・オンラインショップ開設費用 約 8 万円
- ・チラシ印刷代（紙代を含む） 約 7 万円
- ・商品パンフレット印刷代（紙代を含む） 約 33 万円（9 月以降）

⑦ 今後の課題・展望

- ・情報発信に力を入れ、様々な形での商品購入を促したい。
- ・オンラインショップは手始めとしてクッキーから始めたが、上手く推移すれば他の製品（アイス、ビーズアクセサリ）等に拡大したい。行く行くは他の施設の製品も扱い福祉施設製品のネット販売の中核的役割を担いたい。
- ・お届け便を発展させ、高齢者向けの宅配事業を行いたい。
- ・商品パンフレット多くの団体、個人に配布し、オーリーハウス製品の浸透を図りたい。
- ・ピンチがチャンスとなるよう今以上の取り組みを行って行く。

- ・コロナ終息しても今年度の取り組みは継続して行い、終息後は大幅増収が図られ今年度の赤字が埋められるようにしたい。

社会福祉法人オリーブの樹 <https://www.olivehouse.org/>

オンラインショップ <https://www.olivehouse.org/online-shop-top-page/>









オリーブハウス オンラインショップ開店

ネット限定3セット



オリーブ【定番4種類】クッキーセット



オリーブ【季節限定5種類】クッキーセット



オリーブ【ミニ8種類】クッキーセット

各セット ¥1,000 (税込み・送料別)

ご注文および詳しくは社会福祉法人オリーブの樹
ホームページをご覧ください。

<https://www.olivehouse.org/>



～オープン記念クーポン～

オンラインショップ限定セット1000円(税込み・送料別)を3セット以上お買い上げの皆さまは、
合計金額より【100円割引のクーポン】がご利用いただけます。

クーポン番号 ティーオーディーオー **TODO16000930**

2020年10月31日(土)まで有効

オリーブハウス

検索

CLICK



お問い合わせ
【オリーブ 轟】

〒263-0021 千葉市稲毛区轟町 5-2-4

Tel: 043-306-1600

Fax: 043-306-1601

E-mail otoiawase@olivehouse.info

オンラインショップ開店に当たって

＝ボランティアと障害者が作り上げたホームメイドクッキー＝

障害者の就労や地域生活の支援を行う社会福祉法人オリーブの樹が、オンラインショップを始めました。新型コロナ禍により全てのイベントが中止になる中で、せっかく作っても売る場所がないという状況に陥り、新たな販売場所としてインターネットを用いての販売に活路を見出そうと思ったからです。

その主力となる製品は何と言っても 35 年間に亘り多くの方々にご愛顧をいただいていたクッキーです。学校のバザーや駅頭での販売でご存じの方も多と思います。

オリーブハウスが全国に先駆けて障害を持つ方々とクッキー作りを始めたのは昭和 61 年 9 月 18 日でした。アメリカ在住経験を持つボランティアさんが障害者に安定した収入がもたらせる仕事として、アメリカのお母さんが子供に食べさせるホームメイドクッキーの製造方法を伝授してくれました。もちろん道具を買うお金なんかありませんでした。オープンを始め多くの道具をボランティアの方々が持ち寄ってくれました。そしてボランティアさんの指導の下、障害者の方々が生地作りを行い、天板にスプーンや指で成形して並べ、オープンに入れました。待つこと十数分甘い香りとともにクッキーが焼きあがりました。みんなで「おいしい」「おいしい」と言いながら少し焦げたクッキーを食べました。

あれから 35 年余りが経ちますが、どんなに月日が流れてもオリーブハウスはホームメイドの味にこだわり、素朴で飾り気のない、そして長い間多くの方々に食べていただけるクッキーを作ることをモットーに製造に励んでいます。

今までクッキーの販売を行っている中でよく「オリーブハウスのクッキーはどこで買えるの?」と聞かれますが、イベントが無くなる中で「今度はここに出店するので、そこで買って下さい」と言えなくなりました。でもオンラインショップならいつでも食べたいとき、誰かに差し上げたいときに買うことが出来ます。

オンラインショップを通じて末永くオリーブハウスのクッキーをご愛顧いただけることを願っています。



令和 2 年 8 月 26 日
社会福祉法人オリーブの樹
(オリーブハウス)
理事長 加藤 裕二